令和3年度第1回府中市都市計画審議会 【議事概要】

〇開催日

令和3年5月24日(月)13:30~15:15

〇開催場所

府中市役所 4 階 第一委員会室

〇出席委員

岡辺重雄(会長)、加藤誠章、田中貴宏、小寺旭、加藤吉秀、本谷宏行、加島広宣、福代智之、 蒲原幹生、山根剛、髙尾英里

〇議案

- ・第1号議案 備後圏都市計画下水道の変更について
- ・第2号議案 府中市都市計画マスタープラン改訂について

〇主な議論

- ・第1号議案 備後圏都市計画下水道の変更について
- (委員) 区域を縮小されるとのことで、合併処理浄化槽の設置について、上乗せの補助金で対応 していくことに対して、住民の方々は納得されたのか。
- (事務局)下水道から切り替えることによって発生する個人負担増額相当分ということで説明して おり、ご理解をいただいていると考えている。
- (委員) 早期の普及率 100%を目指されるのであれば、もう少しエリアを縮小するという考えも良いのではないか。
- (事務局) 現在の下水道整備の計画区域は立地適正化計画で位置付けている居住誘導区域とほぼリンクしている。将来的な展望を見据えて、人口動向等の変化により立地適正化計画の区域の変更もあると思われるので、その場合は下水道の計画区域を縮小する等の検討が必要となる可能性がある。
- (委員) 縮小したエリアはどのような考えでこのような線の引き方になっているのか説明してい ただきたい。
- (事務局)全体の事業計画区域内について、個別処理有利であるか集合処理有利であるかという検討を行い、下水道で整備していくべき部分と個別で処理を進めていくべき部分を決めた。加えて、立地適正化計画などのその他のまちづくりの計画との整合を行い、最終的にこのエリアに決定したというのが、汚水処理施設整備構想の作業内容。
- (委員) なかなかいきなり言われてしまうと、住民の納得感に繋がらない。少し丁寧に説明していただけると良いのではと思う。

- ・第2号議案 都市計画マスタープラン改訂について (諮問)
- (委員) 資料には「住民参加、公民協働」と書いてあるが、その協働について一番困っているのは、行政の中でまちづくり協議会の位置付けがされていないので動きづらいということ。何かしら位置づけをしていただきたい。
- (事務局)都市計画マスタープランの改訂の中で、組織としてどういう風に関わることができるか について、いただいたご意見を参考に進めさせていただきたい。
- (委員) 最近読んだ文書の中に「府中駅南側のにぎわいづくり」と記載があった。賑わいづくり においては府中駅を中心にしてきたと思っていたが、i-coreFUCHU ができた段階で、その 考え方が南側に移動したのではないかという意見が周囲で挙がっている。府中駅周辺の にぎわいづくりといえば、南も北もなく全体的な賑わいづくりをやってもらいたい。
- (委員) 賑わいづくり検討委員会では、南地区に限らず、例えば恋しきのあり方や石州街道、上 下町も含めて、府中全体にいかに人を集め、賑わいを作るかの議論をしている。
- (事務局)都市デザイン課では都市計画マスタープランに先駆けて、「府中市グランドデザイン」を 策定している。府中駅の賑わいをどう作り出し、20年~30年先府中駅周辺がどうなって いればいいかということを考えた計画。この中では、府中駅の北も南も合わせて賑わい を創出するエリアということで位置付けている。
- (会長) 新しい世代の担い手にまちづくりに参画して活躍してもらえると 30 年先の府中市は生き 生きしていると思う。そのあたりの打開策がうまくいけば府中らしいまちづくりが実現 できると思う。
- (委員) 子育て世代・働いている世代は、仕事のことで頭がいっぱいで、町がこんな風になって くれたら暮らしやすい等といったところまで考える余裕がないのが現実。選択肢を与え てくれたら意見を出しやすいし、イメージが浮かびやすい。
- (会長) 要はコミュニケーションの仕方を工夫できればということだと思う。ぜひ都市計画マスタープランをきっかけに積極的に若い人に語りかけて一緒に作っていく取組をしていただければと思う。
- (委員) 市民の方からしたら都市計画の敷居が高いというのは大きな課題だと思う。そうすると、コミュニケーションをできるだけ取るということが大事。情報のツールを駆使して、いかに敷居を下げるかが大きな課題になってくる。そうなると ICT の活用等は大事になってくると思うが、そのあたりを都市計画マスタープランにもう少し書き込まれると良いと思う。
- (委員) 市の中心部はあまり災害に対する余地がないと思うが、基本的には芦田川の左岸では相 当程度の浸水被害が生じる。実際に内水氾濫は起きている。がけ崩れ対策や立地の規制 だけでなく、ぜひソフト対策についても重点的に加えていただけると良いと思う。